

七、納涼期間中納涼特別手当八乗務員ニ對シテ八金八百円ヲ
支給ス 但シ規定ノ納涼手当四円八包含セズ

八、六時半ヨリ六時半マデ、七時ヨリ七時マデノ勤務 對シテハ
倍額ノ時間増ヲ支給ス

九、慰安會ノ提案、如キ場合八十時間ノ時間増ヲ支給

十、今日ノ問題ニ關シテハ今後ノ犠牲者ヲ出サズ但シ上司ノ

命令ニ服セズ故ニ莫ニ乘客ニ迷惑シカケル場合ハ此ノ限リニテモ

聲 明 書

期未常英新編後備兵役關係退職慰勞金ニテハ調査
ノ要スル材料等ニテハ相当方慮ノ期間ヲ与ヘラレタリ、自今早急ニ
之思以テ本問題ノ具体化ニ最善ノ努力ヲ惜ミザルナリ右聲明ス

大正十五年八月十日

管理部長
電機主任

永井 啓
鶴田源右エ内

代表者各位

二神

由代表者直ニハ会社側ノ該三條ニ對スル經過ヲ九
知ラス

斯レニ我等ハ一週日ノ爭議は了ラレ而シテ従業員自ラ
ノ爭議ニ依リテ教育され石カ、る四圍ノ条件ハ組織ノ必
要ヲ痛感セシメ此ト「交通労働研究會」ハ健やか
生産聲ヲ揚げ石 我等ハ全員ノ固キ「团结」ヲ誓フ
也

博軌電車従業員一同